

平成 21 年度 学校法人東成学園

事業報告書

# 目 次

I. 法人の概要	—————	2
II. 事業の概要	—————	4
III. 財務の概要	—————	20

# I. 法人の概要

## 1. 建学の精神

### 「礼・節・技の人間教育」

この意味するところは、礼（礼儀）、節（節度）、技（技術・技能）を身につけ、高い品性とコミュニケーション能力をもった音楽家・音楽人を養成することです。

## 2. 学校法人名および所在地

ガッコウホウジン トウセイガクエン

学校法人 東成学園 神奈川県川崎市麻生区万福寺 1 丁目 16 番 6 号

TEL 044-953-1230

（大臣認可年月日 昭和 33 年 2 月 28 日）

3. 平成21年度 学生数 (平成21年5月1日現在)

昭和音楽大学(音楽学部)

学 科	
作曲	78
器楽	618
声楽	229
音楽芸術運営	412
合 計	1,337

昭和音楽大学大学院(音楽研究科)

専 攻	
オペラ	12
器楽	31
音楽芸術運営	4
合 計	47

昭和音楽大学短期大学部(音楽科)

学 科	
音楽科	306

4. 平成21年度役員・教職員数 (平成21年5月1日現在)

[理事・監事・評議員・顧問]

	常勤	非常勤		計
理事・監事・評議員・顧問	16	14		30

[教職員]

	大学	短大	本部	計
専任教員	69	15		84
専任職員	39	17	2	58
合 計	108	32	2	142

# II. 事業の概要

## 平成21年度 大学・短大海外研修事業報告

### 夏期研修

※都市名は宿泊地

平成21年8月9月												9月																						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2		
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
						ウィーン			研修所			フィレンツェ		ローマ		機中		成田																
																		ミラノ		研修所					フィレンツェ		アッシジ		ローマ		機中		成田	

※8月30日ヘルティカローラ賞コンサート

ヨーロッパ見学(選択) 11名  
ヨーロッパ実技(選択) 15名

### 春期研修

※都市名は宿泊地

平成22年2月3月												3月																											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3	4	5	6						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土						
						ミラノ		研修所																フィレンツェ		ローマ		機中		成田									
																								福島英語学校															
																		ロンドン						機中		成田													

長期A団(必修) 45名  
アートマネジメント・舞台スタッフ(必修) 32名  
バレエ(選択) 27名

※都市名は宿泊地

平成22年3月																														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
ミラノ		研修所																フィレンツェ		ローマ		機中		成田						
						ローマ		フィレンツェ		ウエネツィア		パリ		機中		成田														
				ニューヨーク								機中		成田																

長期B団(必修) 42名  
アートマネジメント・舞台スタッフ(必修) 32名  
ミュージカル実技(選択) 18名  
ニューヨーク見学(選択) 3名

海外研修 I (長期研修) (学部3年必修)

A団(ピアノ演奏家、弦楽器、声楽)

B団(声楽)

海外研修 III (アートマネジメント・舞台スタッフコース2年必修)

海外研修 II (学部2-3年、短大1年選択)

夏期見学(ピアノ、音楽療法、音楽芸術)

夏期実技(ピアノ)

バレエ(バレエ)

ニューヨーク見学(サウンドプロデュース)

ミュージカル実技(ミュージカル)

## 平成 21 年度 大学・短大招聘教授事業報告

招聘教授名	担 当	招 聘 期 間
1. ミロワ－木管 5 重奏団	5 重奏	4 月 8 日
2. ユージン・M・コーポロン	吹奏楽	5 月 28 日～6 月 8 日
3. リチャード・グレイソン	電子オルガン・即興	6 月 9 日～6 月 20 日
4. ローラン・ルフェーブル	ファゴット	6 月 15 日～6 月 17 日
5. ミシエル・ズコフスキー	クラリネット	6 月 16 日
6. 遠藤 康行	バレエ	7 月 25 日～8 月 1 日
7. ジャン・クロード・ジェラルド	フルート	8 月 18 日～9 月 6 日
8. ジョー・ブサード	ミュージカル	8 月 29 日～9 月 13 日
9. 大曲 真由美	ミュージカル	8 月 29 日～9 月 13 日
10. 河津 由佳	ミュージカル	8 月 29 日～9 月 13 日
11. マルコ・ガンディーニ	演出	9 月 1 日～9 月 28 日
12. ウォルター・ブイケンズ	クラリネット	9 月 8 日～9 月 21 日
13. ロベルト・サンティーニ	イタリア語	9 月 16 日～9 月 18 日
14. ジョナサン・スタイル	バレエ	9 月 17 日～9 月 21 日
15. マリアーノ・ゴンザレス	ハーブ	9 月 25 日
16. ウィリアム・マッテウツィ	声楽	10 月 12 日～10 月 27 日
17. セルジョ・ペルティカローリ	ピアノ	10 月 21 日～11 月 7 日
18. ブルーノ・シュナイダー	ホルン	10 月 22 日
19. クラリモニア	クラリネット	11 月 6 日
20. ジョン・オコーナー	ピアノ	11 月 23 日～12 月 5 日
21. ヴィレム・ブロンズ	ピアノ	12 月 8 日～12 月 10 日
22. アラン・ブランチ	作曲	12 月 12 日～12 月 19 日
23. ウィリアム・カーン	打楽器	1 月 5 日～1 月 16 日
24. ベン・ヒューズ	バレエ	1 月 24 日～2 月 14 日

平成21年度 大学・短大「芸術特別研究」事業報告

学内で開催の演奏会							
前期				後期			
公演日	曜日	演目	会場	公演日	曜日	演目	会場
4月26日	日	オペラ「夕鶴」	テアトロ ジーリオ ショウワ	10月3日	土	大学オペラ	テアトロ ジーリオ ショウワ
4月29日	水(祝)	ミュージカル「boy be…」	テアトロ ジーリオ ショウワ	10月4日	日	大学オペラ	テアトロ ジーリオ ショウワ
4月29日	水(祝)	癒しと憩いのコンサート	ユリホール	10月6日	火	学内演奏会③	ユリホール
5月1日	金	エリック ミヤシロ EM.Band	テアトロ ジーリオ ショウワ	10月8日	木	作曲学科作品・研究発表	ユリホール
5月2日	土	トリオ・リベルタ コンサート	ユリホール	10月27日	火	五十嵐学長賞コンクール	テアトロ ジーリオ ショウワ
5月3日	日	光岡暁恵 リサイタル	テアトロ ジーリオ ショウワ	10月27日	火	ペルティカローリ教授 公開講座	C511
5月5日	火(祝)	国府弘子ピアノdeコンチェルト	テアトロ ジーリオ ショウワ	11月6日	金	8時間コンサート	ユリホール
5月19日	火	学内演奏会①	ユリホール	11月7日	土	8時間コンサート	ユリホール
6月7日	日	ウィンド・シンフォニー	テアトロ ジーリオ ショウワ	11月8日	日	コンチェルト定期演奏会	テアトロ ジーリオ ショウワ
6月9日	火	学3演奏家コース アンサンブル学内演奏会	ユリホール	11月24日	火	学内演奏会④	ユリホール
6月10日	水	学3演奏家コース アンサンブル学内演奏会	ユリホール	11月25日	金	室内楽定期演奏会	汎用スタジオ
6月16日	火	作曲学科作品発表	ユリホール	11月26日	木	オコーナー教授公開講座	ユリホール
6月19日	金	リチャード・グレイソン コンサート2009	ユリホール	12月1日	火	電子オルガン定期演奏会	ユリホール
6月23日	火	学内演奏会②	ユリホール	12月8日	火	ブロンズ教授コンサート	ユリホール
7月4日	土	管弦楽定期演奏会	テアトロ ジーリオ ショウワ	12月13日	日	メサイア(ジーリオ)	テアトロ ジーリオ ショウワ
				12月15日	金	器楽指導者コース発表会	ユリホール
9月24日	木	教員研究発表①	ユリホール	12月20日	日	吹奏楽定期演奏会	テアトロ ジーリオ ショウワ
9月28日	月	教員研究発表②	ユリホール	1月23日	土	川崎市・ボルチモア市交流 30周年記念コンサート	汎用スタジオ
9月29日	火	教員研究発表③	ユリホール				

学外で開催の演奏会							
前期				後期			
公演日	曜日	演目	会場	公演日	曜日	演目	会場
5月9日	土	能	国立能楽堂	12月6日	日	文楽鑑賞教室	国立劇場(小)
5月17日	日	ショパン・ピアノ選集	横浜みなとみらい ホール	12月10日	木	メサイア	サントリーホール
5月22日	金	ストラディヴァリウス	東京オペラシティ コンサートホール	1月23日	土	スターダンサーズバレエ団	ゆうぼうとホール
6月6日	土	歌舞伎鑑賞教室	国立劇場	2月6日	土	カルメル会修道女の対話	東京文化会館
6月12日	金	オペラ「愛の妙薬」	東京文化会館	2月7日	日	カルメル会修道女の対話	東京文化会館
6月13日	土	オペラ「愛の妙薬」	東京文化会館				
6月14日	日	Kバレエカンパニー	オーチャードホール				

## 平成21年度 本学園主催演奏会事業報告

演奏会名	開催日	会場
<b>昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部</b>		
アルテリカしんゆり2009 エリック ミヤシロ EM. BAND	5月1日	テアトロ ジーリオ ショウワ
アルテリカしんゆり2009 明日の巨匠たち (主催 川崎・しんゆり芸術祭2009実行委員会/川崎市 アートセンター)	5月3日	川崎市アートセンター アルテリオ小劇場
アルテリカしんゆり2009 国府弘子 ピアノ de コンチェルト ～昭和音楽大学管弦楽団とともに～	5月5日	テアトロ ジーリオ ショウワ
吹奏楽団 第10回昭和ウインド・シンフォニー	6月7日	テアトロ ジーリオ ショウワ
管弦楽団 第28回定期演奏会	7月4日	テアトロ ジーリオ ショウワ
フェスタ サマーミュージアKAWASAKI2009 (主催 ミューザ川崎シンフォニーホール)	8月6日	ミュージア川崎シンフォニーホール
大学オペラ「愛の妙薬」	10月3日	テアトロ ジーリオ ショウワ
	10月4日	
第16回コンチェルト定期演奏会	11月8日	テアトロ ジーリオ ショウワ
第1回音楽大学オーケストラフェスティバル (主催：音楽大学オーケストラフェスティバル実行委員会/東京芸術 劇場/ミュージア川崎シンフォニーホール)	11月21日	ミュージア川崎シンフォニーホール
電子オルガン 第7回定期演奏会	12月1日	ユリホール
ジェラルド・プーレ&ヴィレム・ブロンズ デュオリサイタル	12月5日	ユリホール
第34回「メサイア」	12月10日	サントリーホール
	12月13日	テアトロ ジーリオ ショウワ
吹奏楽団 第23回定期演奏会	12月20日	テアトロ ジーリオ ショウワ
大学院オペラ専攻修了公演	2月11日	テアトロ ジーリオ ショウワ
短期大学部ポピュラー音楽コース卒業公演	2月14日	テアトロ ジーリオ ショウワ
短期大学部バレエコース卒業公演	2月20日	テアトロ ジーリオ ショウワ
大学院室内楽コンサート	3月6日	ユリホール
平成21年度卒業演奏会	3月15日	ユリホール
	3月16日	テアトロ ジーリオ ショウワ



平成21年度 生涯学習センター事業報告

●主催事業 ○共催事業

月日	曜日	講座名	講師・出演者	受講料	会場／備考	受講者数
通年	日	● しょうわ ジュニア・オーケストラ (10:30～13:00)	中村晃也、江上孝則 小林英昭、梅都優子 結城ゆかり、山岸彩子、 松木葉子、永井隆太郎、 甲斐正悟、深堀理子	5,000/月 (入団費10,000)	北校舎第3スタジオ	36
通年	日	● しょうわ ジュニア・オーケストラクラブ (13:30～15:00)		3,000/月		
通年	木	● シャンソン講座 (C・11:00～12:30,A・13:00～15:00,B・15:00～16:30)	森 貴子	A・6,000/月 B・5,500/月 C・5,500/月	北校舎スカラ	A・8 B・7 C・9
4/1～ 9/30	土日 (原則)	● 社会人のための音楽指導スキルアップ講座	昭和音楽大学教員他	12,000 (1ケル・1科目)	南校舎 1ケル(3ヶ月)・全6回	第6・56 第7・51
4/11	土	○ SHOWAミュージック・カフェ・コンサート① 木管楽器の響き (14:00～15:30)	武内美徳、平本祐子 鈴木希恵、牧野裕美 森本春子	850	ユリホール	259 ※1
5/11～ 9/28	月	● イタリア語で歌おう！カンツォーネ入門 (A・10:30～12:00、B・13:30～15:00、C・15:00～16:30)	松浦 健 辻 喜久栄(ピアノ)	25,000 (全10回)	北校舎教室 発表会・スカラホール	A・10 B・10 C・9
5/23	土	○ ユリシリーズVol.1 ハイライト&完全解説 オペラ「愛の妙薬」の楽しみ (14:00～16:00)	岡山 廣幸 清水理恵、藤原海考	1,500	ユリホール	164 ※1
5/24	日	● 音楽療法講座① 重複障がい児と音楽療法 (13:30～16:30)	八重田 美衣	2,000	南校舎 C511	101
5/27	水	● ハドソン・シャッド・コンサート (17:15～19:00)	ハドソン・シャッド 三原淳子(ピアノ)	無料	ユリホール	270
6/6	土	○ SHOWAミュージック・カフェ・コンサート② アンサンブルの華 ピアノトリオ (14:00～15:30)	古川真理、山岸彩子 河野有香	850	ユリホール	280 ※1
6/27	日	● レクチャー・コンサート もっと知ろう！もっと聴こう！ドイツリート (14:00～16:00)	五十嵐郁子、山崎裕視 ニール・A・シャープ	1,500	ユリホール	202
7/11	土	○ SHOWAミュージック・カフェ・コンサート③ 室内楽の調べ ～ヘンデル没後250年に寄する～ (14:00～15:30)	皆川卓志、高江洲愛 甲斐正悟	850	ユリホール	259 ※1
7/30	木	○ しょうわ ジュニア・オーケストラ 夏休み体験教室 (14:00～17:00)	江上孝則(指揮者)他	無料	テアトロ ジーリオ ショウフ	39 ※2
8/1	土	○ 夏の夕暮れコンサート (16:30～18:30)	松浦健、早稲田桜子 星和代	2,300	テアトロ ジーリオ ショウフ	394 ※1
8/11～ 8/13	火～木	● 吉田都 バレエ・マスタークラス&公開レッスン (13:00～16:00、公開レッスン15:00～17:00)	吉田 都	50,000 聴講1,500/日	北校舎 第2スタジオ テアトロ ジーリオ ショウフ	受講・22 聴講・622
8/31～ 9/5	月～土	● ミュージカル・ワークショップ (10:00～17:00)	ジョー・ブサード 大曲真由美、河津由佳	30,000	北校舎 第1スタジオ 他	28
9/5	土	● ジョー・ブサード チャリティ・コンサート (15:00～17:00)	ジョー・ブサード 大曲真由美、河津由佳	チャリティ・ドネーション	北校舎 第1スタジオ	183
9/12	土	○ SHOWAミュージック・カフェ・コンサート④ 躍動感溢れる打楽器の世界 (14:00～15:30)	松本律子、南 真一 海野 茜	850	ユリホール	257 ※1
9/16	水	○ ユリシリーズ特別コンサート 神秘の世界 雅楽 (14:00～16:00)	雅楽道友会	2,500	ユリホール	97 ※1
9/19	土	● 大学オペラ公演「愛の妙薬」プレ講座 (14:00～16:00)	星出 豊、納富景子 松岡幸太、大石洋史 三浦克次、中村文香	1,500	ユリホール	143
9/25	金	○ ユリシリーズ特別コンサート 心に響く アルバとハーブの世界 (14:00～16:00)	マリアーノ・ゴンザレス 山崎祐介	2,000	ユリホール	91 ※1
9/26	日	○ ユリシリーズ特別コンサート 響き渡る イタリアの歌声 (14:00～16:00)	牛坂洋美 ジャミル・レジェビ	2,000	ユリホール	126 ※1
10/1～ 3/31	土日 (原則)	● 社会人のためのリカレント講座	昭和音楽大学教員他	個人:45,000 グループ: 12,000	南校舎 1ケル(3ヶ月)・全6回	第1・52 第2・52
10/1	木	● 大学オペラ公演「愛の妙薬」ゲネプロ見学会 (15:00～19:00)	星出 豊	1,000	テアトロ ジーリオ ショウフ	197
10/12	月・祝	○ 秋の夕暮れジャズコンサート (16:30～18:30)	守屋純子、安か川大樹 近藤和彦、片岡雄三 岡崎好朗、加納樹麻	2,800	ユリホール	304 ※1

10/17	土	○	SHOWAミュージック・カフェ・コンサート⑤ 弦楽アンサンブルの調和 (14:00～15:30)	上野真理、沼野朱音 植田唯、加藤泰徳	850	ユリホール	257	※1
10/21	水	○	ウィリアム・マッテウツィ 声楽公開レッスン (17:00～19:00)	ウィリアム・マッテウツィ	2,000	ユリホール	259	※3
10/24～ 10/25	土・日	●	合唱指導法講座 (10:00～17:00)	清水雅彦、山館冬樹	15,000 聴講1,000/日	北校舎 ラ・サラー・スカラ	受講・6 聴講・38	
11/15	日	●	音楽療法講座② 高齢者の音楽療法～歌を支える伴奏のワークショップ (13:30～16:30)	山口 潤子	2,500	南校舎 C103	62	
11/22	日	●	レクチャー・コンサート もっと知ろう！もっと聴こう！クライスラー (14:00～16:00)	瀬川光子、有田栄 奥平純子	1,500	ユリホール	153	
11/28～ 11/29	土・日	●	指揮法講座 (10:00～17:00)	星出 豊 稲葉和歌子・仲田淳也(ピアノ)	15,000 聴講1,000/日	南校舎 C511	受講・8 聴講・49	
12/19	土	○	SHOWAミュージック・カフェ・コンサート⑥ ピアノの競演 (14:00～15:30)	泉谷絵里、梅澤美徳子 阿部雄一、関義夫	850	ユリホール	316	※1
1/23	土	●	レクチャー・コンサート もっと知ろう！もっと聴こう！ホルン (14:00～16:00)	宮田四郎、樋口哲生 今城衣美子 昭和音楽大学ホルンアンサンブル	1,500	ユリホール	154	
1/31	日	○	ティータイム ミュージカル コンサート マイ・フェイバリット・シングス (14:00～15:30)	織田佳奈子、吉川恭子 板倉由希子、寛本弘美	1,500	北校舎 第1スタジオ	114	※1
2/4	木	●	音楽療法講座③ 感じる～心と音楽～ (17:30～19:30)	日野原重明 納富景子、松岡幸太	2,000	テアトロ ジーリオ ショウワ	714	
2/6～ 2/7	土・日	●	ベン・ヒューズ バレエ・ワークショップ (13:00～16:00)	ベン・ヒューズ	10,000	南校舎 スタジオ	22	
2/13	土	○	SHOWAミュージック・カフェ・コンサート⑦ 新進オペラ歌手による”花の歌” (14:00～15:30)	正岡美津子、吉田郁恵 曾我雄一、稲葉和歌子	850	ユリホール	254	※1
2/27	土	○	第5回 おとなだけの音楽会 ～あなたも名演奏家～ /60歳以上の方 (14:00～17:00)	一般公募	出演料 15,000	ユリホール	233	※1
3/20	土	○	SHOWAミュージック・カフェ・コンサート⑧ 低音の魅力 (14:00～15:30)	デニス・ビシュニャ 藤岡弘子、斎藤ちひろ 馬場晴美	850	ユリホール	249	※1
3/28	日	●	しょうわ ジュニア・オーケストラ 第5回定期演奏会 (14:00～16:00)	江上孝則(指揮) 小林英昭(指揮)	無料	テアトロ ジーリオ ショウワ	777	

※1・・・プレルーディオとの共催事業 ※2・・・川崎市教育委員会との共催事業 ※3・・・歌曲研究所との共催事業

## 外部団体との提供事業

講座名	開催日	会場	備考
▼新冠町・昭和音楽大学音楽交流事業 ①音楽団体演奏クリニック(吹奏楽指導) 指導:関口仁	(全3回) 5/17-19, 6/13-16 2/19-22	(北海道新冠郡新冠町)  新冠レ・コード館 新冠中学校、他	新冠町教育委員会 主催
②音楽創造体験事業(小学校校歌レコーディング事業) 指導:益田トッシュ	(全4回) 9/30-10/2, 11/25-27 12/9-11、2/25-28	新冠小学校	新冠町教育委員会 主催
③アウトリーチ・コンサート 木管五重奏、打楽器 声楽	2/26(金)	新冠小学校 朝日小学校	新冠町教育委員会 主催
④パートナーシップ・コンサート 指揮:関口仁、小学生指導:益田トッシュ 声楽:大石洋史、古瀬安子(P) 打楽器:青山拓也 木管:麻生優希、若山健太、渋谷圭祐 杉田翔、井上智沙登	2/27(土) (滞在2/25-28)	新冠レ・コード館	新冠町教育委員会 昭和音楽大学 共同主催

## 平成21年度 舞台芸術センター事業報告

### 【舞台芸術センター オペラ研究所】

昭和音楽大学舞台芸術センター オペラ研究所は、オペラおよびその関連領域の研究を目的としている。平成 21 年度は以下の活動を推進した。

#### ①「オペラ劇場における人材育成システムに関する研究」[平成 21～23 年度]

文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の補助を受け、オペラ劇場人材の育成システムの構築を目指し、調査研究事業を実施した（3 カ年予定）。

##### (1) 研究員会議の開催

###### ■第 1 回研究員会議

日時：2009 年 6 月 15 日（月） 会場：昭和音楽大学第 1 会議室

議事：プロジェクトの目的・体制、平成 21 年度事業計画、ほか

###### ■第 2 回研究員会議

日時：2010 年 2 月 14 日（日） 会場：昭和音楽大学第 2 会議室

議事：平成 21 年度事業報告、平成 22～23 年度事業計画、ほか

##### (2) ワークショップ、公開レッスン、公開講座、研究会の開催

###### ■ペーター・コンヴィチュニー オペラ演出ワークショップ

講師：ペーター・コンヴィチュニー（演出家、ライプツィヒ歌劇場首席演出家）

日時：2009 年 6 月 2 日（火）～7 日（日）

会場：昭和音楽大学ユリホール（2～4 日）、東京藝術大学音楽学部第 6 ホール（5～7 日）

※本学、東京藝術大学、ドイツ文化センターの三者の共催により、若手演出家・歌手を対象にオペラ演出についてのワークショップを実施した。初日は一般に公開した。

###### ■マリエッタ・デヴィーア 声楽公開レッスン

講師：マリエッタ・デヴィーア（ソプラノ歌手）

日時：2009 年 8 月 14 日（金）～15 日（土） 会場：昭和音楽大学テアトロ ジーリオ ショウワ

※高校生・大学生（14 日）ならびにプロを目指す研究生・若手プロ歌手（15 日）に対する公開レッスンを実施した。

###### ■公開講座「音楽を読み解く ～作品解釈の過去と現在」

講師：クリストファー・ホグウッド（指揮者／音楽学者／鍵盤楽器奏者）

日時：2010 年 2 月 14 日（日） 会場：昭和音楽大学ユリホール

※17～20 世紀の楽譜校訂のありようや現代の楽譜校訂・解釈ならびにその人材育成について音源を紹介していただきながら講演いただいた。質疑応答の時間をとりより深い理解が得られるよう配慮した。

##### (3) 小規模研究会の開催

###### ■第 1 回研究会「オペラ・フェスティバルを活用した観光・地域振興政策

～オーストリア〈ブレゲンツ音楽祭〉を例に」

講師：エヴァ・クライニッツ（ベルギー王立モネ劇場芸術企画・制作監督）

日時：2009 年 7 月 10 日（金） 会場：霞が関ナレッジスクエア

※観光・地域振興政策としてのオペラ・フェスティバル開催の実現にあたって、クリアすべき財政的・人的な課題について、ブレゲンツ音楽祭オペラ監督として運営に携わった経験をもつクライニッツ氏に講演いただいた。

###### ■第 2 回研究会「チューリッヒ歌劇場インターナショナル・オペラ・スタジオ（IOS）における歌手育成」

講師：光岡暁恵（IOS 研修生、藤原歌劇団団員）

日時：2010 年 1 月 28 日（木） 会場：昭和音楽大学第 2 会議室

※日本における歌手育成システムに関する研究に活かすことを目的として、IOS における歌手育成シス

テムについて講演いただいた。

(4) 字幕表示 LED 制御装置の整備

字幕は昨今のオペラ上演において欠かせないものであり、聴衆に対する影響力は無視できない。そのような字幕のありようを、ソフト・ハードの両面から研究するための設備として、字幕表示 LED 制御装置を整備した。

(5) 日比谷公会堂所蔵資料の目録作成

日比谷公会堂は、1929（昭和4）年の開場から30年近くにわたり日本におけるオペラ公演等の中心的会場として利用され、公演に関する資料をほぼもれなく所蔵している。日本におけるオペラを中心とした人材や聴衆育成のありようについて検討することを目的に、その第一段階として同公会堂所蔵資料の目録を作成した。

②「オペラを中心とした音楽情報・資料の収集および活用に関する調査研究」[平成21年度]

文化庁「音楽情報・資料の収集及び活用に関する調査研究」の委託事業として、日本のオペラ作品（日本人による作品または日本語による作品）の楽譜、初演に関する資料等の所在の調査、およびこうした作品を再演するために必要な情報の収集をおこない、その成果を報告書にまとめ公開した。

③日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集

関根礼子嘱託研究員を中心に、日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集を継続しておこなった。蓄積した情報は、『日本のオペラ年鑑』編纂協力に活かされるほか、オペラ関係者の要望に応じて提供される。

④『日本オペラ史 1953～』（仮称）の出版業務

好評を博した増井敬二（著）、オペラ研究所（編集）『日本オペラ史 ～1952』（平成15年刊行）の続刊として、関根礼子・増井敬二（共著）、オペラ研究所（編集）『日本オペラ史 1953～』（仮称）の出版に向けて、データ作成や編集の業務を引き続きおこなった。

⑤『日本のオペラ年鑑 2008』（日本オペラ連盟発行）の刊行事業に協力

関根礼子嘱託研究員を編纂委員長とし、日本国内で行われたオペラ公演についての記録と分析記事を掲載する、『日本のオペラ年鑑 2008』（日本オペラ連盟発行）の編纂作業に協力した。本事業は平成8年度から継続的におこなわれているもので、今年度は「文化庁芸術団体人材育成支援事業」の一環として実施された。

⑥出版物管理

『ガエターノ・ドニゼッティ』（平成10年刊行）について、引き続き寄贈本の管理をおこなった。

⑦オペラ研究所研究員会議の開催

研究員会議を開催し、オペラ研究所の運営、平成21年度の事業実績、平成22年度の計画について検討・確認した。

■日時：平成22年3月25日（木）

## 【舞台芸術センター バレエ研究所】

昭和音楽大学舞台芸術センター バレエ研究所は、国内唯一の大学附属バレエ研究機関として平成18年に設立された。海外のバレエ教育に関する最新動向を調査するかたわら、日本のバレエ文化の現状についても調査研究し、わが国に適したバレエ教育方法を整備・提案することを目的としている。平成21年度は以下の活動を推進した。

### ① バレエ研究所研究員会議の開催

#### ■ 第1回研究員会議

日時：2009年7月14日（火）

会場：昭和音楽大学第1会議室

議事：バレエ研究所の新体制について、平成21年度事業計画、ほか

#### ■ 第2回研究員会議

日時：2010年3月24日（水）

会場：昭和音楽大学第1会議室

議事：「教育・学習方法等改善支援」事業の総括、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の進捗、ほか

### ② 「バレエ教育現場との連携による日本におけるバレエ教育システムに関する研究」[平成20～24年度]

文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の補助を受け、以下の調査研究事業を実施した（5ヵ年予定の2年次目）。

#### (1) 研究員会議の開催

日時：2010年3月24日（水）

会場：昭和音楽大学第1会議室

議事：平成21年度事業の進捗および平成22年度の事業計画、成果物取り扱いに関する規程整備、ほか

#### (2) 公開講座とワークショップの開催

##### ■ 世界のバレエ学校シリーズ 第1回 ロイヤル・バレエ・スクール

講師：ゲイリーン・ストック（RBS校長）ほか同校教師3名、および同校アッパークラスより4名の生徒が出演

日時：2010年2月21日（日）、22日（月）

会場：昭和音楽大学テアトロ ジーリオ ショウワ

※世界の著名なバレエ学校を招聘し、その教育システムと指導方法を紹介するシリーズの第1回。講師陣によるRBSの教育システムや具体的なトレーニング方法に関する講演だけでなく、ワークショップとして、RBSの生徒4名と日本人の受講生30名程度により、RBSの授業を再現したデモンストレーション・クラスを実施した。

#### (3) バレエダンサーの身体・心理特性等に関する調査

##### ■ バレエダンサーの身体に関する調査

バレエダンサーの身体特性についての実験を、昭和音楽大学バレエコースの学生およびプロのバレエダンサーを対象として実施した。また、結果の一部は12月に第22回日本トレーニング科学会大会において発表された。

##### ■ バレエダンサーの心理に関する調査

バレエダンサーの「不安」に関する研究の予備調査として、7月に昭和音楽大学バレエコースの学生を対象とした質問紙調査を実施した。

##### ■ バレエダンサーの栄養に関する調査

平成22年度から開始予定の研究計画の提示により、グループ内での連携の可能性について討議した。

#### (4) 国内のバレエ教育普及状況に関する調査

##### ■ バレエ教育に関するデータ収集

国内のバレエ教育普及状況を把握するため、全国のバレエ教室情報のデータベース化を推進した。また、

その他バレエに関するデータ、および比較のための他の稽古事・余暇活動等のデータを収集した。

■バレエ教室に向けたアンケート調査

平成22年度より実施予定の全国のバレエ教室に向けたアンケート調査に関して、目的・対象・設問内容等を検討した。

(5) バレエに関するアーカイブの構築

所蔵資料および寄贈図書の整理を実施した。また、事業成果公開のためのホームページを整備した。

③「日本のバレエ教育に適したバレエ教授法研究」[平成19～21年度]

文部科学省の私立大学等経常費補助金特別補助（教育・学習方法改善支援）を受けて調査研究を実施し、3年間の成果を報告書にまとめ刊行した。

(1) 専門委員会の開催

■第1回専門委員会

日時：2009年9月3日（木）

会場：昭和音楽大学北校舎会議室

議事：アンケート調査の調査内容の確定、日本におけるバレエ用語の混乱に関する討議、ほか

■第2回専門委員会

日時：2009年12月12日（土）

会場：昭和音楽大学北校舎会議室

議事：事業に関する総括、成果報告書の発刊スケジュールについて、ほか

(2) 公開講座とワークショップの開催

■バレエ伴奏の役割と実際Ⅱ

講師：ジョナサン・スティル／ロイヤル・アカデミー・オブ・ダンス音楽開発部長

日時：2009年9月19日（土）～20日（日）

会場：昭和音楽大学バレエスタジオ C601

※平成19年度に開催し好評を博した講座の第二回目である。日本において専門性が確立されていないバレエ伴奏という仕事に焦点をあて、伴奏のための選曲、バレエ・クラスおよびリハーサルのための伴奏法などについて、講義と実技を交えた講座を実施した。

(3) バレエ学習者の意識調査

平成20年度に実施した予備調査をもとに、関東の8つのバレエ教室の学習者を対象としたアンケート調査を実施した。調査結果については報告書とは別にリーフレットの形でも刊行し、広く配布できるようにした。

(4) バレエ用語に関する調査研究

教育現場において混乱や誤用がみられるバレエ用語をとりあげ、海外での研究成果を参照しながら、定義の検討と実際に通用している意味に関する分析を行った。

## 平成 21 年度 歌曲研究所事業報告

### I イタリア語唱法研究部会 活動内容

平成 21 年度イタリア語唱法研究部会の活動として、声楽部会の招聘教授であるウィリアム・マッテウツィ氏にお願いし、歌曲研究所・生涯学習センター共催による「ウィリアム・マッテウツィ教授 声楽公開レッスン」を開催した。学内外から多数の聴衆が訪れ、貴重なレッスンを聴講した。また本年はヘンデルの記念年であることから、酒巻和子教授による研究会「ヘンデルについてーヘンデルを歌った歌手たちー」を開催し演奏とレクチャーを行った。

#### 1 開催内容

- ① 「ウィリアム・マッテウツィ教授 声楽公開レッスン」  
日 時：平成 21 年 10 月 21 日（水）17 時～19 時  
場 所：ユリホール  
受講者：学部 4 年生 2 名 大学院 1 年生 1 名  
曲 目：Tosti “L'ultima canzone”  
Handel “Lascia ch'io pianga”  
Giordani “Caro mio ben”  
参加者：学生 114 名 教員 23 名 一般他 118 名 合計 259 名
- ② 研究会「ヘンデルについてーヘンデルを歌った歌手たちー」  
日 時：平成 21 年 12 月 1 日（火）17 時～19 時  
場 所：C511 教室  
講 師：酒巻和子教授  
演 奏：学部 4 年 4 名  
曲 目：“Giulio Cesare in Egitto” ～ Piangero la sorte mia  
“Alcina” ～ Verdi prati  
“Serse” ～ Ombra mai fu  
“Rinaldo” ～Lascia ch'io pianga  
参加者：学生 42 名 教員 14 名

### II 日本語唱法研究部会 活動内容

日本語唱法研究部会では我が国の著名な作曲家を招き、作品と演奏法について研究会を続けてきたが、今年度は平成 20 年度に続き、小林秀雄氏、三木稔氏の両氏を招聘して 2 回の研究会を開催した。

#### 1 開催内容

- ① 「小林秀雄の歌曲」  
日 時：平成 21 年 6 月 30 日（火）17 時～19 時  
場 所：ユリホール  
演 奏：大学院オペラ専攻 2 年生  
曲 目：すてきな春に 瞳 花の春告鳥 山茶花 うつぎの花  
参加者：学生 31 名 教員他 16 名
- ② 「三木稔の歌曲」  
日 時：平成 21 年 11 月 5 日（火）17 時～19 時  
場 所：ユリホール  
演 奏：大学院オペラ専攻 1 年生 大学研究生  
曲 目：「のはらうた」～ はなのみち たんじょうび おれはかまきり  
「花ものがたり」～藤舞い 鳳仙花  
「四季のバラード」～冬の陽に かわはらの月  
参加者：学生 33 名 教員他 24 名



## 平成 21 年度 音楽芸術運営研究所事業報告

平成 21 年度は、音楽芸術運営研究所に、「コミュニケーションセンター」が加わり、「アートマネジメント研究部会」、「音楽療法研究部会」、の 3 つの部門にて活動が行われた。また、研究員の研究活動報告や論文を集約した「音楽芸術活動研究 2009 No. 3」を編集・発行した。

### ●アートマネジメント研究部会

昭和 59 年（1994 年）に音楽芸術運営学科設立から 15 年を経て、アートマネジメント教育の有効性の検証と大学院教育、リカレント教育のニーズ等についての研究調査を目的として、アートマネジメントコース卒業生へのアンケート調査を実施した。

回収率が予想を下回ったのは残念であったが、アンケート調査の結果を基に分析を行ったところ、カリキュラム内容の評価、大学への期待などの設問では、卒業時期によって異なった見解が見られるなど、興味深い結果が得られた。

調査のまとめは、「音楽芸術活動研究 2009 No. 3」にて報告した。希望があった卒業生には送付する予定である。

本研究で得られた成果を今後のカリキュラム改定や講座・研究活動に反映していく。次年度以降、アートマネジメントに関連した卒業生のネットワーク化・組織化の可能性や、研究会・勉強会の組み立てなどについて同侪会とも連携を深めながら研究を進める予定である。

尚、その他に本研究所の研究員を中心として、学内共同研究の形で、音楽芸術運営に関連した研究がスタートした。

今後は、個々の研究の内容や成果を共有できるよう、次年度以降、研究員会議の開催回数を増やしていきたい。また、共同研究で得られた成果を今後の研究所の活動に役立てていくことを検討したい。

### ●音楽療法研究部会

平成 21 年度は、同侪会音楽療法部会と共催による音楽療法講座のあり方に関して検討し、後期から同侪会音楽療法部会単独主催の講座へと移行を推進した。この為、同侪会音楽療法部会と共催による音楽療法講座は前期 3 回実施した。

午前中に行われる事例発表において、研究員である専任教員が事前の査読指導および当日のスーパーバイズを行い午後の講座の司会を担当した。移行後は研究員である専任教員が講師として依頼を受けて役割を担当した。

後期の第 3 回の講座を同侪会音楽療法部会会員によるシンポジウム「音楽療法の現場から」のテーマで、医療・福祉・教育の各領域で音楽療法を実践している 6 名によるパネル発表が行われた。その後ラウンドテーブル形式での情報・意見交換を行い、会員の自主性を重んじた音楽療法研究会としての新たな方向性を導き出すことができた。

【第1回】 5月24日(日)

- 事例発表 午前10時30分～12時 臨床事例研究発表と学習

『進行性筋ジストロフィー児への音楽療法 ～自発的な行動が増加した一事例～』

発表者：深野 広美 大谷 直祈

※午後は、生涯学習センター主催による公開講座「音楽療法講座①」

【第2回】 7月12日(日)

- 事例発表 午前10時30分～12時 臨床事例研究発表と学習

1 『重度認知症O氏に対して歌を使って書字を導いた音楽療法』

発表者：山本 知恵子

2 『集団音楽療法におけるパーキンソン症候群のA氏への身体機能の維持

～ワークシートによる目的の明確化の活用～』

発表者：市原 隆子

3 『特別養護老人ホームにおけるベル活動による小集団音楽療法～S氏の対人交流へのアプローチ～』

発表者：竹下 はるみ

- 講座 午後13時30分～16時30分 講座：「感覚統合と音楽Ⅲ」

講師：花岡 清美(常葉学園短期大学講師)

司会：久保田 牧子(認定音楽療法士、昭和音楽大学准教授)

【第3回】 2009年8月23日(日)

- 事例発表 午前10時30分～12時 臨床事例研究発表と学習

1 『99歳：寝たきり・閉眼状態・発語が消失したAさんに対する個人音楽療法』

発表者：武部 敦子

2 『施設入所と、その家族への音楽療法～ストレス軽減を目指して～』

発表者：吉田 早織

- 講座 午後13時30分～16時30分『音楽療法の現場から』(シンポジウム形式)

パネリスト：勝田 恭子、小川 菜津美、鎌田 佳代

名田部 直子、武部 敦子、高橋 和奈枝

司会：羽石 英里(認定音楽療法士、昭和音楽大学准教授)

尚、11月19日(木)には音楽芸術運営研究所 音楽療法部会主催による研修会を開催した。

第1部は「地域の特別支援教育と音楽療法の今後の連携と課題」をテーマに、麻生養護学校教諭の岡安玲氏による講演を、第2部は岡安玲氏を囲んで交流会を行った。

又、生涯学習センター主催の3回の音楽療法講座において、在校生、卒業生への声かけを行い、講座への参加を推進するとともに、本学研究所の研究員である専任教員が講師、司会、企画などに協力し、音楽療法の啓蒙を推進した。

特に第3回は日野原重明先生をお迎えした講演「感じる～心と音楽～」を開催し、オープニングの企画と実施に際して、研究員を総動員して協力した。

更に、研究所音楽療法研究会の10年の振り返りと今後の音楽療法研究に向けて、仮題「音楽療法研究会10年の歩みと今後の展望」と題した研究会の開催を検討した。

#### ●コミュニケーションセンター

平成21年度の昭和音楽大学コミュニケーションセンター(SCC)は、「アーツ・イン・コミュニティ」プログラム(平成18年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)選定)の運営とそれに伴う研究活動を担当するセクションである。

「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムは、川崎市麻生区を中心に芸術文化交流活動を通して社会性を持った人材の育成を行う取組みで、平成20年度より正規授業としてカリキュラム化された(科目名「音楽活動研究Ⅰ、Ⅱ」)。

平成21年度に派遣依頼受け入れ可否を検討した結果、演奏指導活動派遣:麻生区内小学校7校、麻生区内中学校2校、福祉施設6施設、その他団体4団体活動数:演奏活動22回、教育指導活動37回(計67回)実施した。

「アーツ・イン・コミュニティ」の活動は3年目を迎え、参加学生数、活動数は増加を続けている。また、地域から依頼・問い合わせの件数も増えており、地域での認知度が向上していると言える。

「音楽活動セミナー」の企画として計9事業を企画・実施した。「音楽活動セミナー」では、学内外の講師による実践的な講義が展開され、セミナーを通じて得られた知識とスキルは、学生の演奏・指導活動に大いに活かされた。

広報活動としては、ニュースレターVol.5とVol.6を発行し、大学関係者、地域住民、音楽関連団体等に配布し、本プログラムの広報活動を一層強化した。インターネットを活用した広報も強化できたが、学生ブログがマンネリ化しつつあるため、内容を工夫し、より多くの学生が執筆できるような仕組みを考えたい。

## 平成21年度 音楽教育研究所事業報告

### 1. 推薦音楽会の実施

オーディションを通過した附属音楽・バレエ教室生徒を対象に音楽会を実施し、現在の教育成果を確認すると同時に今後の音楽教育のあり方についての調査研究を行った。

- ・オーディション： (第1次) 11月29日 ・ (第2次) 1月31日
- ・本番： 2月 28日 ・出演者 28名

### 2. 特別レッスンの実施

前年度の推薦音楽会出演者より選出された附属音楽・バレエ教室生徒、及び音楽・バレエ教室進学コースに在籍している高校2年生以上の生徒のうち本学入学希望者で実技担当教員大学兼務教員でない者合計33名に対し、大学の教員が実技レッスンを行い(月1回・年間11回)、その指導成果を今後大学等の学生教育に役立てていくための調査研究を行った。

### 3. プラスワン講座の実施

年間8回行われるピアノステップアップと同時開催

- 5月17日 (新百合ヶ丘校)、 6月20日 (中央林間校)、 8月 1日 (多摩校)
- 9月12日 (小田原校)、 11月15日 (新百合ヶ丘校)、 12月19日 (本厚木校)、 2月20日 (港北校)、 3月14日 (新百合ヶ丘校)

### 4. 高校生のための歌曲コンクールの実施

「第10回 高校生のための歌曲コンクール」の実施

参加資格： 高校1年生～3年生 (2009年4月1日現在)

開催： <予選> 2009年5月16日 (土)、17日 (日)

昭和音楽大学南校舎 C511教室

参加者数 179名

<本選> 2009年6月13日 (土)

昭和音楽大学南校舎 ユリホール

参加者数 42名

本選結果： <優秀賞> 5名 <奨励賞> 11名

## 平成21年度 ピリオド音楽研究所事業報告

### 1. 第4回公開講座「弦楽器の変遷 ヴァイオリン編」

日時：2009年7月14日 (火) 19時開演 会場：ユリホール

### 2. 特別講座「音楽作品の正しい理解と演奏のために」

～バロックからクラシック時代の通奏低音とその奏法 part 1

日時：2010年1月20日 (水) 18時30分開演 会場：A311教室

### Ⅲ. 財務の概要

1. 資金収支計算書 (財務諸表 資金収支計算書をご覧ください。)
2. 消費収支計算書 (財務諸表 消費収支計算書をご覧ください。)
3. 貸借対照表 (財務諸表 貸借対照表をご覧ください。)
4. 平成 21 年度決算の財務概要の説明

平成 21 年度の資金収支計算書について予算との対比で説明します。

#### 【収入】

学生生徒等納付金収入は、大学・短大ともにほぼ計画通りの学生数を確保できたことにより、予算に近い金額となりました。

補助金収入は、大学・短大合計で 10 百万円の減額となっています。

補助金収入につきましては、私立大学等経常費補助金特別補助や競争的資金等に重点を置いて積極的な申請を行っていますが、平成 21 年度は、「私立大学等研究設備整備費等補助金（私立大学等研究設備等整備費）」や「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」等を新たに申請し、採択されました。教育研究環境のより一層の充実を図るために、今後も補助金や競争的資金等を活用していきます。

資産運用収入は、テアトロ ジーリオ ショウワ等の施設貸出による施設設備利用料収入等の減額により 6 百万円の減額となりました。

前受金収入は、平成 22 年度募集で大学・短大ともに入学者数が増加したことにより、32 百万円の増額となりました。

#### 【支出】

教育研究経費支出は、経費の徹底した見直しの結果、消耗品費支出等を削減できたこと、海外研修への参加人数減少により旅費交通費支出が減額となったこと、南校舎改修工事費用のうち既存部分の撤去に係る費用を修繕費支出に振り替えたことに伴う増額等により、全体としては 106 百万円の減額となりました。

管理経費支出も、経費の徹底した見直しの結果、印刷製本費支出等を大幅に削減できたことにより 50 百万円の減額となりました。

施設関係支出では、上述の南校舎改修工事費用の修繕費支出への一部振り替えに伴い、36 百万円の減額となりました。